

2 0 1 9 年 度  
事 業 計 画 書



学 校 法 人 共 济 学 院  
日 本 保 健 医 療 大 学



2019年度

# 事業計画書

## 目次

### 基本方針

○設立の背景と理念	1
○日本保健医療大学の目標	1
○入学者受け入れの基本方針（アドミッションポリシー）	3
○日本保健医療大学教育課程編成実施方針（カリキュラムポリシー）	4
○日本保健医療大学学位授与方針（ディプロマポリシー）	5
1 学生の受け入れ計画	7
2 教職員の配置計画	7
3 施設、設備などの整備計画	8
4 自治体との連携関係	8
5 教育研究環境の整備	9
6 学生募集の強化	11
7 事業運営の推進	11
8 2019年度予算案について	13
資金収支計算書	16
事業活動計算書	17

# 基本方針

## ○設立の背景と理念

我が国は、第2次世界大戦の敗戦により荒廃した社会の中で文字どおりゼロからスタートしました。そして戦後、国民のたゆまぬ努力により、科学技術の高度な進展とともに工業技術の発展を遂げ、世界有数の経済大国・技術大国に成長しましたが、人間性の高揚においては未だしの感あり、今後は文化大国を目指して、前進致さねばなりません。一方、乳幼児死亡率の低下と公衆衛生の向上ならびに医学の進歩により国民の寿命は飛躍的に延び、今日ではいわゆる高齢化社会を迎えたところであり、今後ますます高齢者が増加すると予測されています。

このような高齢化社会にあって、すべての国民が豊かな老後を過ごすためには、国民一人ひとりが心身ともに健康で生甲斐をもって日々充実した生活を送ることが必須であります。このために医学の分野のみならず、保健医療福祉の分野の充実・拡充が急務となっております。

今日の医療現場では、医師のみならず看護師、臨床心理技術者、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の医療専門スタッフがチームを組み、一体的にケアに当たるいわゆるチーム医療の必要性が叫ばれており、それぞれの専門職の養成と資質の向上が緊急の課題となっております。

このような社会の要請に鑑み、私たちは、保健医療分野の充実を図るため「日本保健医療大学」を設立し、気品の泉源、智徳の模範を目指し「人間性（儒教の三綱五常の精神を基本とする）の高揚と、共済主義、又は共済主義精神（共存共栄の精神）」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療の専門職を育成し、人類の平和と高度な文化の実現に貢献しようとするものであります。

## ○日本保健医療大学の目標

[看護学科]

### 1 【人間性】深い教養と豊かな人間性を備えた人材の育成

医療に携わる者は、まず最初に幅広く深い教養に根ざした豊かな人間性が大切です。人間の健康は身体的側面のみならず、精神的、文化的、社会的諸側面などすべてを併せて完成するものであり、したがって医療は全人的医療でなくてはなりません。そのため、教養教育を重視し、儒学的道徳心を培い、滲み出る教養と溢れる人間味を備えた人材を育成します。

- 2 【専門性】高い専門性と総合的な視野を持ち、独創性・指導性の発揮できる人材の育成  
医療技術は日進月歩であり、それぞれの分野で常に極めて高度な専門的知識・技術を必要としています。そのため、個々の専門性のみならず総合的に判断できる能力を養い、特に学際的な分野において独創的な技術を模索できる人材を育成するとともに、それぞれの分野においてリーダーシップと協調性を発揮できる人材を育成します。
- 3 【国際性】グローバルスタンダードに対応できる国際性を備えた人材の育成  
医療技術の分野も当然、国際的スタンダードは高度に発展しています。このような中であって国際的に通用する専門性はもちろん、英語教育を重視し、専門的知識・技術を世界に発信できる能力を有する人材を育成します。
- 4 【社会性】地域社会のみならず国際社会に貢献できる人材の育成  
高齢化社会における全人的医療は、病院等におけるケアだけでなく、在宅等のケアも重要です。したがって地域社会の役割もますます重要となってきました。その地域社会にあって指導的役割を担うことのできる人材を育成します。  
また、地球上にはまだまだこのような医療の面で途上の国々や地域がたくさん存在します。このような社会で指導的役割を担い、国際貢献できる人材を育成します。

[理学療法学科]

- 1 【人間性】深い人間理解に基づいた、人に寄り添える理学療法士の育成  
豊かな教養を身につけ、高い倫理性を涵養し、自らの人間性を高揚させることにより人間を深く理解し、弱者に寄り添い共に生きる社会を実現できるような理学療法士の育成を目指す。
- 2 【専門性】責任ある専門家として他職種と連携できる理学療法士の育成  
高度なチーム医療の中で、責任をもって理学療法士としての専門性を発揮しながら、他の職種と連携できる、さらにはリーダーシップを発揮できる理学療法士の育成を目指す。
- 3 【国際性】国際社会に貢献できる理学療法士の育成  
理学療法を通して、地域社会のみならず国・人種などを超えた人類の健康に自主的かつ創造的に貢献できる、国際性をもった理学療法士の育成を目指す。
- 4 【社会性】変化する社会と進歩する科学に対応できる理学療法士の育成  
眼前の現象だけに惑わされることなく基本を重視しつつも、常に向上心と探究心を持ち、変化する社会と進歩する科学に柔軟に対応できる理学療法士の育成を目指す。

5 **【総合性】多様で広範な理学療法ニーズに対応できる理学療法士の育成**

基礎分野の教育に力を入れ、急性期から生活維持期まで、新生児から高齢者まで、また運動器系分野・神経系分野・内部障害系分野といった多様で広範な理学療法ニーズに対応できるジェネラリストとしての基盤を固め、その上でさらに自らの得意分野を伸ばしてスペシャリストを目指せるような理学療法士の育成を目指す。

○**入学者受け入れの基本方針（アドミッションポリシー）**

**【日本保健医療大学の理念と目標について】**

本学は、人間性（儒教の三綱五常の精神を基本とする）の高揚（人間性の復活、向上から、人間性の高揚へ）と、共済主義又は共済主義精神（共存共栄の精神）を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療の専門職を育成し、人類の平和と高度な文化の実現に貢献できる人材を育成します。

**【日本保健医療大学が求める学生像】**

**[看護学科]**

- 1 日本保健医療大学の基本理念を十分に理解し、専門職業人として、「慈愛、正義、礼節、知識、誠実を身につけ、社会人としての責任態勢の確立に努力し」、また、「我が物を独りせず、他の物を欲せず、自他共存共栄の社会」の実現に強く貢献したいと考える人
- 2 これからの時代の健康、医療、福祉分野における科学技術の高度化、専門化、及び国際化に対応するための努力を継続できる人
- 3 幅広い教養と広い視野を備えた豊かな人間性を養うため、気品の泉源、智徳の模範たるべく、積極的に自らを磨いていける人
- 4 あらゆる人に対して自らの心を開き、協調性をもってコミュニケーションをとれる人
- 5 医療人としての使命のため、利他優先の精神をもって病める人々に貢献し、権利の主張より義務の全うに努力できる人
- 6 学業・社会貢献・技術・芸術・スポーツのいずれかの分野で優れた活動実績を有し、さらに日本保健医療大学での学びを活かして将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人
- 7 日本保健医療大学での学びを活かし、将来、母国および国際社会における健康、医療、福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持つ人
- 8 当大学は学業と健康な体作りを第一とするため、原則としてアルバイトを禁止する。

但し、2年次以降は学業成績良好であり目的がある場合は大学に申請の上、家庭教師等の職種によっては短時間認めることがある。(毎日、勉強が必要なため、海外の最高レベルの諸大学は皆同様な方針を採用しています)

#### 【日本保健医療大学が求める学生像】

##### [理学療法学科]

- 1 本学の基本理念を十分に理解し、専門職業人として、「慈愛、正義、礼節、知識、誠実を身につけ、社会人としての責任態勢の確立に努力し」、また、「中庸を道とし、民族、宗教、思想に捉われることなく、自由と平等の立場並びに一地球人として、我が物を独りせず、他の物を欲せず、自他共存共栄の社会」の実現に貢献したいと考える人
- 2 これからの時代の健康、医療、福祉分野における科学技術の高度化、専門化、及び国際化に対応するための努力を継続できる人
- 3 幅広い教養と広い視野を備えた豊かな人間性を養うため、気品の泉源、智徳の模範たるべく、積極的に自らを磨いていける人
- 4 あらゆる人に対して自らの心を開き、協調性をもってコミュニケーションをとれる人
- 5 医療人としての使命のため、利他の精神をもって病める人々に貢献し、権利の主張より義務の全うに努力できる人
- 6 学業・社会貢献・技術・芸術・スポーツのいずれかの分野で優れた活動実績を有し、さらに本学での学びを活かして将来それぞれの分野で活躍したいという意欲を持つ人
- 7 今日迄周囲の人々に教え育てられた事に報いるため、卒業後は身に付けた学問を社会還元し、将来、母国および国際社会における健康、医療、福祉分野に貢献したいという強い意志を持つ人

#### ○日本保健医療大学教育課程編成実施方針（カリキュラムポリシー）

##### [看護学科]

本看護学科の教育課程の編成にあたり、本学部の教育方針である幅広い視野と人格の陶冶、高度の専門的知識・技術を修得し、看護実践能力のある人材の育成を目標にカリキュラムを作成している。

看護学科のカリキュラムの特徴は、学修を段階的に積み上げ、螺旋的に繰り返し、内容を充実していく学習となっている。看護学の専門分野である「看護学専門科目」と看護学を支える科目として、「専門基礎系科目」を設定し、さらに、看護専門職に不可欠な人間理解につながる能力と広い視野を持つ判断力、人間性を培う科目として「基礎系科目」を設定している。

また、カリキュラムの中心に人間を置き、人々の健康生活の支援に関する知識・技術（「個人→集団」、「健康→健康障害・終末期」）に向かうように段階的に組み、学習者自身の人間的成長にもあわせた編成となっている。

#### [理学療法学科]

本理学療法学科は、「人間性の高揚と、共存共栄の精神（共済主義精神）」を理想に掲げ、高度の専門性を持って幅広く活動できる保健医療福祉の専門職を育成し、国民ひいては人類の福祉と活力ある、より高度な社会の実現に貢献する」という建学の精神に基づいた

- ① 深い教養と豊かな人間性を備えた人材の育成【人間性】
- ② 高い専門性と総合的な視野を持ち、独創性・指導性の発揮できる人材の育成【専門性】
- ③ グローバルスタンダードに対応できる国際性を備えた人材の育成【国際性】
- ④ 地域社会のみならず国際社会に貢献できる人材の育成【社会性】

という教育目標に基づき、教育課程の編成方針を定める。

- ・教育課程は、基礎科目、専門基礎科目、専門科目から構成される。
- ・基礎科目は学士力の基礎としての深い教養、問題解決能力、コミュニケーション能力を身につけるための広範な科目を開設する。
- ・ディプロマポリシーを達成するよう、4年間を通して教育課程を体系的に配置する。
- ・臨床実習は全ての要素を総合的かつ統合的に涵養する機会として配置

### ○日本保健医療大学学位授与方針（ディプロマポリシー）

#### [看護学科]

学部所定の期間在学し、大学の教育理念を身につけ、大学並びに学部の教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、基準となる単位数を修得し、卒業試験に合格することが学位授与の要件である。修得すべき授業科目には、講義科目のほか、学部の方針に応じて、演習や実習等の科目が含まれる。

#### [理学療法学科]

##### (1) 認知領域（知識・思考・判断）

- ① 保健医療専門職として相応しい知識と深い教養を身につけている。
- ② 外国語や他国の保健医療事情などの学習を通じ、他文化の理解と国際的な視野に立ち、保健医療について考察できる。
- ③ 多様な情報を適切に分析し、合理的な思考ができる。
- ④ 必要な問題解決方法を理解している。

##### (2) 精神運動領域（技術・行動・表現）

- ① 保健医療領域の諸課題を見出し、科学的考察による的確な判断と専門職として相応しい対応ができる。
- ② 確実な基本的技術を提供する能力と、漸次高度化する専門分野の先進技術を学ぶ姿勢を持っている。

③ 患者様、その家族、そして専門家集団の中で適切なコミュニケーション、さらには外国語による基本的な会話などを通して国際的なコミュニケーションが行える能力を身につけている。

(3) 情意領域（関心・意欲・態度）

- ① 生涯にわたり専門分野を探究し、発展に寄与する意欲を持っている。
- ② 理学療法士の使命・責任と守るべき義務を理解し、誇りを持った行動ができる。
- ③ 人と社会に深い関心を持ち、人権を尊重し、高い倫理観を維持できる。

以上の要件を満たした者に学位を授与する。

## 1 学生の受け入れ計画

学生の受け入れについては、2017年度、2018年度の入学者は看護学科では定員を上回っているが、理学療法学科では2017年度の新設以来、定員の確保ができていない状況が続いている。

このことから、2019年度入学者の確保に向けては、3月よりオープンキャンパスを実施するなど、広報活動をこれまでより早期から取り組んだ結果、資料請求者数、オープンキャンパスなどのイベント参加者および入試の受験者数は前年度より増加したが、理学療法学科においては、定員の確保に苦戦している。

2020年度入学者の受け入れ計画として、定員を確保すべく昨年度から取り組んでいる広報活動の早期化やターゲットにあわせた広報戦略に更に強化していく。

## 2 教職員の配置計画

看護学科及び理学療法学科の教員については基礎（系）科目、専門基礎（系）科目、専門科目のそれぞれにおいて、必修科目を中心に、教育研究上の優れた業績を有する者、高度の技術・技能を有する者、当該実務において特に優れた知識及び経験を有する者を核として、バランスよく専任教員を配置する。

期末又は期中において専任教員が退職をした場合、すぐに補充をするのではなく、現状の教員で対応することが可能かを十分に検討する。

事務職員については、本学の目標達成に向け、これまで以上に積極的な役割を担い、大学運営の一翼を担う機能をより一層発揮できるよう、事務の効率化、合理化を図り、円滑に機能する組織体制を構築できるよう人員を配置する。また、職員が大学の運営に必要な知識・技能を身につけ、教職員協働で教育改革に取り組める体制を構築するため、FD・SD研修会を行い充実を図る。

北キャンパス（看護学科）

（単位：人）

区分	専任教員							特任教授
	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	
基礎系	1	4	1	1			7	2
看護系		8	6	7	6	7	34	1
合計	1	12	7	8	6	7	41	3

※H31.3.12現在の予定者数

区分	事務職員			
	教務課	総務課	図書館	計
常勤	5	4	(2)業務委託	9
非常勤	8	2	2	12
合計	13	6	2	21

区分	専任教員					計
	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎系						0
理学療法系	5	1	2	2	2	12
合計	5	1	2	2	2	12

区分	事務職員					計
	事務局長	教務課	総務課	医学部設置 準備室	図書館	
常勤	1	2	1	2	(2)業務委託	6
非常勤		3	(1)派遣			3
合計	1	5	1	2	0	9

### 3 施設、設備などの整備計画

今年度も引き続き、教養教育・看護等に係る図書（オンライン・データベースを含む）を購入して整備するとともに、開学時に導入した設備の老朽化が進んでいるため、段階的に整備更新を行っていく。

また、幸手北キャンパスでは、今年度中に構内全体に無線 LAN 環境の整備をめざし、授業での利用として、学生参加型で双方向性の高いアクティブラーニングを取り入れていけるように計画していく。

理学療法学科のある、南キャンパスについても構内に無線 LAN の整備を進め、学生の利便性を高められるように努めていく。さらに、3 年次以降の臨床実習に向けた学習についても、対応できるように各年次が必要な参考図書をメディアセンターに配架していく。

### 4 自治体との連携関係

本学が幸手市に開学して 10 年目を迎える。大学の社会的存在意義を考えたとき、幸手市や幸手市民と良好な関係を築くことが重要である。地元の方々に誇りに思ってもらえるよう努めている。

具体的には、本学と幸手市との包括的連携に関する協定を締結する準備を進めているが、既に平成 26 年度から、本学教員が幸手市教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書の意見を求められ提言を行っており、また、幸手市介護認定審査会委員等を委嘱されている。

今後も、本学の教職員・学生が幸手市でのイベントへの参加や公共施設を利用する等、幸手市との連携を密にし、①市民公開講座の開催、②学院祭等に幸手市民参加を促す、③幸手市民等への大学施設の貸し出し、④災害時の避難場所としての受け入れ、⑤保健福祉総合センター・社会福祉協議会主催の幸手市健康福祉まつりへのボランティア活動の参加等、市民の福祉・医療・保健に資する共同事業を積極的に推進していく。

また、埼玉県との関係強化や地域の諸団体との連携についても、協力を推進していく。

## 5 教育研究環境の整備

### (1) カリキュラム編成、教育方法の充実

社会的使命を果たすため、教職員が一丸となって、教育の質の保証と向上に努め、建学の精神の具現化をめざす。

教育の原点であるディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3ポリシーを遵守し、この3ポリシーに照らした取り組みについて点検・評価を実施する。

初年次教育の充実・強化に向けて検証と見直しを行うと共に、具体的な改善案を策定する。教学 IR や FD 活動や授業評価アンケートの活用等を通じて、学生の資質や学力、学習成果の把握に努め、それをカリキュラム改革に活かしていく。

従来のカリキュラムの優れた面を保ちつつ、社会の動向や学生の資質・ニーズの変化にも合わせ、学生の成長に一段と資する形となるよう、改善を図っていく。

入学して来る学生の多様化への対応、高大連携、及び初年次教育・導入教育の拡充といった観点から、入学前教育の強化を図る。

国家試験の合格率 100%を目指し実現するために、看護師国家試験及び理学療法士国家試験の過去問題 5 年間（または 10 年間）をデータベース化し、各領域・出題区分にまとめた過去問題冊子を年度初めに学生・教員に配布し、授業時並びに自学自習に役立てるようにする。各授業科目の定期試験においては、この過去問より一定の割合を出題することとする。出題割合は科目別国家試験出題割合により異なるが少なくとも 5 割を国家試験データベースより出題するものとする。

### (2) 教育活動の充実

クラスを分けての授業や ICT の活用を通じて、学生の学習意欲を喚起し、理解し易く教育効果の高い授業を行うための授業方法の改善、教育内容の充実に取り組む。そして大学設置基準において義務付けられている、大学の授業の内容・方法の改善を図るための組織的な研修と研究を実施することとし、具体的には FD 委員会において、講演会、シンポジウム、教育方法改善のためのワークショップ等の具体化を図っていく。あわせてディプロマ・ポリシーに掲げた教育目標の成果について客観的に評価できる全学共通の指標について検討する。教育方法の充実として学生の主体的な学修を促すための工夫がなされている事例研究を通して、学生の学修成果の向上に向けたアクティブ・ラーニングの諸施策を検討する。

### (3) 研究活動の充実

研究促進委員会を中心に、科研費や民間団体、企業等からの研究助成金の公募についての情報提供や応募を奨励し、研究指導の強化を図り、論文・学会発表等の奨励に努める。

また、公正な研究活動の推進と公的研究費の適正管理のため定期的な研究倫理教育、不正防止対策としてコンプライアンス教育の実施、研究倫理・利益相反委員会による倫理審査で研究活動支援をより発展させていく。

### (4) 学生支援活動の充実

担任、学習指導教員により学生生活等全般にわたる相談を積極的に行い、全教員による

学生へのきめ細かな対応の強化を図る。

本学の目標である、人間性、専門性、国際性、社会性を有し、共済主義精神を有する人材を育成するために、正課外教育の観点から、課外活動を含めて学生が充実したキャンパスライフを送ることができるよう、学生の学修意欲の向上に資するものを拡充する。

具体的には、IR（全学的な情報共有と活用）や FD・SD 活動などを継続すると共に、各学科と事務局が持つ様々な情報を、個人情報保護に留意しつつ教職員間で共有・利用し合い協力を進めていく。

また、心のケア等の相談窓口として平成 30 年 12 月に設置した学生相談室を引き続き運用する。同室には看護師を配置し、急病人への対応と共に、学生からの相談に応じている。臨床心理士等への相談が必要な場合には、校医と相談の上で、学外の心理療法室等を紹介することとしている。

#### （5）保健師・看護師・理学療法士資格等の取得支援

国家試験の合格率は、大学に対する社会的評価の重要な指標の一つでもあり、国家試験合格率 100%を目指し様々な学生への支援を行っているが、特に基礎学力の不足する学生に対しては、早期からきめ細やかな学習支援を行うなどさらなる充実を図る。

看護学科においては、2019 年度においても教員等により構成される国家試験対策委員会等を中心に、補講や国家試験対策模擬試験を実施し、個別指導と合わせ、国家試験の全員合格を目指し、取り組んでいく。

理学療法学科においては理学療法士国家試験を約 2 年後に控えているが、1 年次より 4 年次まで計画的にキャリアデザインを進めていく。理学療法学基礎教育からキャリア教育を実施し、職業観を育成していくとともに、引き続き、来たる理学療法士国家試験に向けて教職員で構成する国家試験対策委員会を設けて、国家試験の全員合格を目指して取り組んでいく。

#### （6）就職支援

看護学科では病院からの奨学金制度を積極的に受け入れており、1 学年のおよそ半数の学生が病院からの奨学金の貸与を受けている。病院奨学金の貸与を受けている学生については既に就職先が決まっている状況にある。残りの半数の学生に対しては、就職支援室を通じての恒常的な就職情報の提供や就職ガイダンスの実施、病院の就職説明会の開催等、今年度も引き続き、学生の就職支援に取り組んでいく。

また、理学療法学科においても同様に、就職支援室を通じて就職情報の提供を行うとともに、今後は WEB 上でも求人票等の採用情報を提供できるように求人情報サイト準備していく。あわせて学内就職ガイダンス等を実施し就職内定率 100%を目指す。

### 6 学生募集の強化

看護系大学が全国で現在 260 校を超え、2020 年には埼玉県の大宮に日本赤十字大学が新設を予定し、その後も浦和美園に順天堂大学が看護学科の新設を予定するなど、なお新設が相次いでいるおり、埼玉県に看護系大学を取り巻く経営環境はますます厳しさを増している。

このような状況の中、意欲的かつ学力・人物面で優秀な学生を確保することは、本学の目標・目的の実現のためにも最重要の課題である。

2020年度入学者募集での入試広報方針としては昨年度に引き続き、「全学体制での入試広報活動」を掲げ、重点戦略としては、①特長と強みの再構築（他校との差別化）、②早期募集の確立（タイミング広報の確立）、③インターネット広報の強化（自学媒体の強化）、④イベントの充実と戦略化（直接広報の強化）、⑤高校訪問の推進（高大連携の推進とネットワーク強化）を更に強化する。

また、パンフレットやホームページを新調する他、TwitterやInstagramといったSNSを利用した広報活動など、受験対象となる高校生目線の広報活動の展開していく。

定員の確保のために、看護学科 240 名、理学療法学科 160 名の受験者数の確保を目標とし、資料請求者やオープンキャンパスなどのイベント参加者を確実に受験につなげる仕組みづくりに取り組んでいく。

## 7 事業運営の推進

### (1) 新規事業の検討

大学開設後 10 年目を迎え、新たに幸手南キャンパスにおいて設置した保健医療学部理学療法学科は 3 年目を迎えることとなった。10 周年を迎えるのに伴い、記念式典の開催、記念誌の発行等を検討して行く。

また、完成年度に向けて、理学療法学科を軌道に乗せて行くのと並行して、①新たな学科、②日本語学校や留学生別科（簡易な程度における特別の技能教育を施す目的で設置できる大学別科のうち、主に外国人留学生への準備教育を主として設置されるもの）、③共通教育センター（基礎教育、教養教育、初年次教育、あるいは入学前教育といった大学全体の学びを下支えする部門を担当する組織）等の設置を検討していく。

昨年度は本学の関連法人である、医療法人静和会において、千葉県船橋市に大規模リハビリテーション病院（339 床）が認可されたが、これまでに引き続き、医学部設置準備室を中心に医学部、附属病院の設置についても進めて行く。

### (2) 自己点検・評価

認証評価（平成28年度受審）において指摘された「改善を要する点」について、昨年度までに策定した改善策を実施する。その実施状況及び結果に基づいて、改善報告書を作成する。同報告書を本学のホームページで公開し、2019年7月には認証評価機関である公益財団法人日本高等教育評価機構（JIHEE）に提出する。

また、JIHEEが定める大学評価基準に沿って、本学の自主的な自己点検・評価の実施スケジュールを定めることとする。

### (3) 情報公開

大学の教育研究活動等に関する情報についての社会的な関心が高まっていると共に、大学は公共性が高い機関であり、大学の教育研究活動等に関する情報を社会に対して提供することは、社会的な責務であり、学校教育法及び学校教育法施行規則においても、情報公表及び具体的な情報公表の項目を定めているところである。

また、私立学校法においては財務情報の公表も定めており、教育研究活動等の情報及び財務情報を大学のホームページ等において広く公表することは、現在では大学に限らず広く一般に行われているところである。

このような状況に鑑み、これまで本学においても教育研究活動等の情報及び財務情報の公表について積極的に拡大してきたが、2019年度においてもさらに一層情報公表項目を拡大することに努めることとしている。

#### (4) FD（教員の資質の維持向上の方策）

授業方法等教育活動の改善を図るため以下の方針で進めていく。

- ①ベテラン教員や外部講師による教員研修を実施する。
- ②外部研修に参加して、新たな知識を習得し、教育活動の改善向上に役立てる。
- ③教員相互の授業研修を行い、担当教員と参観教員による意見交換会を開催して授業のあり方を検討し、教員相互の啓発を図る。
- ④担当授業について教員自身の自己評価・自己申告を行い、学生による授業アンケートにおける評価・要望と対比・検討し授業改善に役立てる。
- ⑤教育技法の実践的研究とその発表を奨励する。また、経験豊かな教員、授業評価の高い教員の公開授業や授業案の発表を通して、教員個々の課題を明確にし、より質の高い授業の実践を目指す。

## 2019年度 事業計画（財務）

お手許配付資料の2019年度予算案について、説明いたします。

収支予算は、以下の計画に従って計上しました。

尚、資金収支計算書は、会計年度の資金ポジションの状態を表すもので、手許資金の収入、支出の構成が示されます。

事業活動収支は、一般企業の損益計算書に近いもので、固定資産の減価償却や、退職金支払のための退職給与引当金も含め、期中の収支状態を明らかにするものです。

### 1 収入の部

#### ① 学生生徒等納付金収入

収入の大部分を占める、学生生徒等納付金収入は、下の表の学生数で計上しました。

理学療法学科は、3学年合計で、定員240人に対し123人にとどまるため、180百万円以上の収入減となります。

#### 学生数（人） 2019年度

	1回生	2回生	3回生	4回生	計
看護学科	110	111	108	80	409
理学療法	50	48	25		123
計	160	159	133	80	532

#### ② 手数料収入(入学検定料)

手数料収入は、受験料と在学生からの試験料、在学証明書発行等の証明手数料収入で構成されますが、来年度の受験者数は、以下の予定で予算としました。

#### 2020年度入学受験生数（人）

	看護学科	理学療法学科	合計
受験者数	240	160	400

#### ③ 補助金収入

国庫補助金は、私立大学等経常費補助金ですが、前年度並みで予算としています。

#### 私立大学等経常費補助金（円）

	2019年度	2018年度	2017年度
国庫補助金	87,000,000	87,000,000	73,304,000

#### ④ 前受金収入

資金収支計算書の前受金収入は2020年度新生が2019年度に支払った学納金は、2020年度の収入とみなして計上するものです。看護学科、理学療法学科とも定員の100人、80人が入学する前提で予算計上しました。

ただし、授業料については、分割納付者が多いことを勘案しています。

### 2 支出の部

支出項目中最大の人件費支出については、人員配置計画上でも2名減となっているため、定期昇給を含めても前期並みの予算としました。

## 人員配置計画

	2019 年度			2018 年度末		
	看護	理学	計	看護	理学	計
教授	13	5	18	14	5	19
特任教授	3	0	3	4	0	4
准教授	7	1	8	7	1	8
講師	8	2	10	7	2	9
助教	6	2	8	7	2	9
助手	7	2	9	7	2	9
教員計	44	12	56	46	12	58
常勤	11	4	15	10	6	16
非常勤	10	4	14	11	2	13
派遣	0.6	0.4	1	0.6	0.4	1
職員計	21.6	8.4	30	21.6	8.4	30
合計	65.6	20.4	86	67.6	20.4	88

特任教授・渋谷事務所開設準備室の2名は看護学科所属

### ②教育研究経費

新たなプロジェクト等で大規模のものは計画されていないため、2019年度は、前期並みの水準に収まる予定です。

### ③管理経費

2019年度は、前期並みの水準に収まる予定です。

### ④設備投資

理学療法学科の設備、器具備品、図書の新規整備が完了し、2019年度は、通常の更新や図書の購入になるため、前期以下に収まる予定です。

②から④に関しては、仮に大口の資金需要が発生した場合に備え、予備費として100万円を予算化しました。

### ⑤長期借入金関係

本学は南キャンパス土地建物購入資金として、日本政策投資銀行と埼玉りそな銀行より長期借入金がありますが、2019年度の元金返済額と利息支払額を以下の表の通り予算計上しました。

単位：千円	2019 年度	2018 年度	差異
返済	49,074	49,074	0
利息	4,000	4,280	△280
計	53,074	53,354	△280

以上により、2019年度の資金収支予算は、収支差額が73,119千円の黒字となって、期末時点での現預金残高は11億86百万円となる見込です。

また、一般の収支計算書に近い事業活動収支でも2019年度は103百万円の黒字となる見込みです。

そのため、2016年度、2017年度では、新学科設置経費負担で、連続2期当年度収支差額はマイナスでしたが、2018年度からは黒字基調になっています。

2019年度予算(案)				
資金収支計算書				
2019年4月1日から2020年3月31日				
収入の部				単位：千円
科目	前期予算 A	当期予算案B	差異 B-A	備考
学生生徒等納付金収入	860,526	922,430	61,904	
手数料収入	16,720	18,200	1,480	受験料等
寄付金収入	340	0	△ 340	
補助金収入	87,000	87,000	0	私学助成金
資産売却収入	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	100	100	0	売店賃料等
受取利息・配当金収入	25	25	0	
雑収入	3,800	4,100	300	その他の収入
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	298,360	285,000	△ 13,360	来期新入生学納金
その他の収入	59,661	52,500	△ 7,161	預り金等
資金収入調整勘定	△ 330,593	△ 298,360	32,233	前期前受金等
前年度繰越支払資金	1,101,862	1,112,888	11,026	
収入の部合計	2,097,801	2,183,883	86,082	
支出の部				
科目	前期予算 A	当期予算案B	差異 B-A	備考
人件費支出	615,500	615,500	0	法定福利費込み
教育研究経費支出	143,618	147,700	4,082	
管理経費支出	109,998	111,002	1,004	
借入金等利息支出	4,280	4,000	△ 280	
借入金等返済支出	49,074	49,074	0	
施設関係支出	0	0	0	
設備関係支出	11,000	8,600	△ 2,400	
資産運用支出	0	0	0	
その他の支出	96,310	96,000	△ 310	前期未払い金
予備費	0	10,000	10,000	
資金支出調整勘定	△ 44,867	△ 44,000	867	
翌年度繰越支払資金	1,112,888	1,186,007	73,119	
支出の部合計	2,097,801	2,183,883	86,082	

## 2019年度予算 (案)

### 事業活動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日

					単位：千円	
科目		前期予算 A	当期予算案B	差異 B-A	備考	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	860,526	922,430	61,904	
		手数料	16,720	18,200	1,480	
		寄付金	340	0	△ 340	
		補助金	87,000	87,000	0	
		付随事業収入	100	100	0	
		雑収入	3,800	4,100	300	
		教育活動収入計	968,486	1,031,830	63,344	
	支出の部	人件費	620,500	620,500	0	退職給与引当込み
		教育研究経費	263,618	159,700	△ 103,918	減価償却費含む
		管理経費	122,098	123,102	1,004	減価償却費含む
		その他	0	0	0	
		教育活動支出計	1,006,216	903,302	△ 102,914	
		教育活動収支差額	△ 37,730	128,528	166,258	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	25	25	0	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	25	25	0	
	支出の部	借入金等利息	4,280	4,000	△ 280	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	4,280	4,000	△ 280	
	教育活動外収支差額	△ 4,255	△ 3,975	280		
特別収支差額		0	0	0		
予備費		0	10,000	10,000		
基本金繰入前当年度収支差額		△ 41,985	114,553	156,538		
前年度繰越収支差額		220,775	167,791	△ 52,984		
翌年度繰越収支差額		167,791	272,344	104,553		
教育活動 減価償却費120百万円						
管理経費 減価償却費12百万円						